

取組名称：「医工薬連環科学」教育システムの構築と社会還元 ～分子から社会までの人間理解～
構成大学：関西大学、大阪医科大学、大阪薬科大学

【従来の生命科学】

- ・専門分化
- ・高度技術の創出



- ・各分野が独立
- ・他分野の理解困難
- ・理念が不明瞭



連携取組



【医工薬連環科学】

- ・人間理解を中心とした新しい自然科学分野
- ・健康・医療に関係する医・工・薬学の連環分野
- ・密接に協調した医工薬科学の学問体系

【3大学の目指すべき共通大学像】

- ・地域密着型生命連環科学教育の先導的実践
- ・地域が育てる循環型医工薬連環科学教育推進拠点
- ・医工薬連環科学教育から生命連環科学教育への発展

【取組趣旨】

- ①「医工薬連環科学教育研究機構」新設による各分野の相互理解を助ける教育カリキュラムの策定・実施
- ②医工薬融合分野の知識を必要とする医療・福祉分野で活躍できる人材の育成
- ③高齢地域社会での世代間相互理解のための社会教育

【3大学・自治体が担う役割】

- [関西大]工学的学部教育の分担、高大連携・社会連携の計画推進・運営、取組に係る監理業務など
- [医科大]医学教育の機会提供、医療保健福祉関連の学際的分野の創造、地元市民への医学医療情報の提供など
- [薬科大]薬学的学部教育の分担、高大連携・社会連携の計画推進・運営など
- [高槻市]教育の実践・交流の場の提供、実践的活動の支援、市民の啓発

取組 1) 教育課程の構築

医工薬連環科学から生命連環科学への教育内容の発展

【輩出する人材】

- ①医工薬3分野の知識修得
- ②分子・細胞・個体・社会の各レベルでの人間機能理解
- ③広い視野を持ち問題点を発掘し柔軟に対応・解決できる人材
- ④治験コーディネーター・病院内情報処理・製薬・人の機能を活かした医工薬融合分野にて活躍できる人材
- ⑤実践的で高度な専門知識を有するジェネラリスト

取組 2) 教育支援システムの構築と教育環境の整備

先導的医工薬連環教育研究拠点の形成

【教育効果】

- ①「医工薬連環科学」分野の効果的教育
- ②電子媒体でのレポート提出・評価による学生の学習負担の軽減
- ③教員の移動時間削減とそれによる効果的時間割策定
- ④遠隔教室に複数名の特別任用教員・T A 配置による受講環境の改善
- ⑤オフィスアワー・ネットワーク構築による学生の学習援助体制の強化

取組 3) 「高齢地域社会」への還元

地域に生き、地域に育てられる循環型教育システムの形成

【連鎖的效果】

- ①小中高生の不得手教科内容の把握、知識の蓄積と理解の深化
- ②高齢者や障害者に対する理解の深化
- ③小中高生による活動の社会還元と地域社会での役割の認識
- ④世代を超えた「人間理解」と③によるさらなる向学心の涵養
- ⑤高大連携・学部教育を受けた人材の輩出・生涯教育などの「縦の循環」形成
- ⑥公開講座など大学と地域との交流による「横の循環」形成